

| | | | |
|---|---------|------|----|
| 授業科目名 | 生命倫理 | 単位数 | 2 |
| 担当教員名 | 色平 哲郎 | 担当形態 | 単独 |
| 実務内容 (実務家教員の場合) | 医師・地域ケア | | |
| <p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>本科目は、個人や社会にとって必要な課題の解決のための自律的な課題探求能力の助長を担うべきものである。</p> <p>共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p> | | | |
| <p>授業の到達目標及びテーマ 生命倫理と福祉</p> <p>(1) ケアとは何か</p> <p>(2) 人間の尊厳について</p> <p>(3) コミュニティー（地域共同社会）の意義</p> <p>(4) 当事者性の重要性</p> <p>(5) プライマリ・ヘルス・ケアとプライマリ・ケアの異同</p> | | | |
| <p>授業の概要</p> <p>テーマとしては3つ、「人の幸せとはなんだろう」、「倫理とはなんだろう」、「基本的人権、権利擁護、職業倫理」について学ぶ。スクーリングでは、日本とフィリピン共和国のケア・介護現場について、両国の社会や家族、経済状況を対比する。</p> | | | |
| <p>スクーリングでの学修内容</p> <p>第1回から第15回全てを横断的に含んだ内容を行う。</p> | | | |
| <p>授業計画</p> <p>第1回：ケアとはなにか、ケアの根源について考える</p> <p>第2回：倫理とはなにか、人間の幸福について考える</p> <p>第3回：基本的人権、当事者主権そして職業倫理について考える</p> <p>第4回：日本の地域共同社会で「人間の尊厳」について考える（日本語）</p> <p>第5回：同、課題抽出</p> <p>第6回：ディスカッション</p> <p>第7回：フィリピンの地域共同社会で「人間の尊厳」について考える</p> <p>第8回：同、課題抽出</p> <p>第9回：ディスカッション（ハンセン病、HIVについても）</p> <p>第10回：日本の地域共同社会で「人間の尊厳」について考える（英語）</p> <p>第11回：同、課題抽出</p> <p>第12回：ディスカッション</p> <p>第13回：認知症ケアの現場で「人間の尊厳」について考える</p> <p>第14回：同、課題抽出</p> <p>第15回：ディスカッション（精神科医療、優生保護法についても）</p> <p>定期試験</p> | | | |
| <p>教科書</p> <p>『風のひと 土のひと—医（いや）す立場からの伝言』 2012年 色平哲郎著 新日本出版社</p> | | | |

参考書・参考資料等

参考 HP

<http://irohira.web.fc2.com>

参考映像

<https://www.youtube.com/watch?v=U66IABeL6E0>

<https://www.youtube.com/watch?v=o96GCIOyTpw>

NHK スームアップ信州・医の道は村の心に通ず（前半）

<https://www.youtube.com/watch?v=bR5jGLs0wBI>

NHK スームアップ信州・医の道は村の心に通ず（後半）

<https://www.youtube.com/watch?v=UZJZ0iW6aP8>

学生に対する評価

スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。